

E. 結論

今後、現体制の情報収集に加えて、これらのデータベースを利用した副作用情報のモニタリングを積極的に行うことによって、院内における副作用情報の更なる抽出が可能になると考えられる。

3. その他

なし

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

1. 中曾根正皓, 小原拓, 野田あおい, 赤坂和俊, 木皿重樹, 松浦正樹, 村井ユリ子, 久道周彦, 山口浩明, 眞野成康.
当院における薬剤に関するインシデントの特徴の把握. 第145回宮城県病院薬剤師会学術研究発表会(仙台), 2015.3.8.

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

III. 学会等発表実績

様式第19

学会等発表実績

委託業務題目「医療機関および薬剤師における副作用等報告制度の認識と実践の実態把握とその推進に関する研究」

機関名 国立大学法人東北大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
薬剤師における「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度」に関する理解と実践、ポスター	小原拓、佐藤倫広、山口浩明、高田紀子、鈴木理沙子、飯田優太郎、青木良子、天沼喜美子、松浦正樹、佐藤真由美、井関健、眞野成康	日本病院薬剤師会東北ブロック第4回学術大会	2014. 5. 31-6. 1	国内
医薬品リスク計画に関する薬剤師の認識、ポスター	山口浩明、小原拓、佐藤倫広、大久保孝義、村井ユリ子、井関健、眞野成康	第17回日本医薬品情報学会総会・学術大会	2014. 7. 12-13	国内
病院薬剤師における医薬品安全性評価に関する認識、口頭	小原拓、山口浩明、飯田優太郎、佐藤倫広、村井ユリ子、松浦正樹、佐藤真由美、井関健、眞野成康	第145回宮城県病院薬剤師会学術研究発表会	2015. 3. 8	国内
当院における薬剤に関するインシデントの特徴の把握、口頭	中曾根正皓、小原拓、野田あおい、赤坂和俊、木皿重樹、松浦正樹、村井ユリ子、久道周彦、山口浩明、眞野成康	第145回宮城県病院薬剤師会学術研究発表会	2015. 3. 8	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別

(注1) 発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

(注2) 本様式はexcel形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。

IV. 研究成果の刊行物・別刷

該当なし

厚生労働科学研究委託費
医薬品等規制調和・評価研究事業
医療機関および薬剤師における副作用等報告制度の認識と
実践の実態把握とその推進に関する研究（H26-医薬B-一般-004）

平成26年度 委託業務成果報告書（平成27年3月発行）

発行責任者 業務主任者 眞野 成康
発 行 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
東北大学病院 薬剤部
TEL 022-717-7525 FAX 022-717-7545

